

公開シンポジウム

# 古代エジプト領域部の文化変化と そのエージェンシー

2025年 7月5日 土 13:00-18:30

名古屋大学文学部 237講義室 (zoom ハイブリッド開催)

- 13:00- 開会の辞
- 13:10-13:50 有村 元春「古代エジプト新王国時代の輸入土器の流通」
- 13:50-14:30 西本 真一「オベリスクの計画方法について」
- 14:30-15:10 周藤 芳幸「ナイルの水位変動と飢饉をめぐる文化的記憶」  
(休憩)
- 15:30-16:10 佐藤 力矢「ローマ帝政初期エジプトにおける皇帝崇拝：  
アウグストゥスと在地社会との文化交渉」
- 16:10-16:50 長谷川 奏「リモートセンシングを応用したナイルの水辺研究：  
メンフィスと西方デルタの事例から」
- 16:50-17:30 高橋 亮介「シルシラ採石場のギリシア語グラフィティについて」  
(休憩)
- 17:40-18:30 総合討論
- 18:30- 閉会の辞

お問い合わせ

主催：アコリス遺跡考古学調査団（団長 川西 宏幸）

名古屋大学 人類文化遺産テキスト学研究センター（CHT）  
周藤 芳幸 suto.yoshiyuki.t3@f.mail.nagoya-u.ac.jp

2025年度 科学研究費補助金 基盤研究（A）「古代西ユーラシア世界における  
知のネットワークとそのエージェンシー」（24H00099 研究代表者 周藤 芳幸）



科研費  
KAKENHI